



遠大勵志

お疲れ様！！

東北高校選手権

◎ラグビー

山形県総合運動公園サッカー・ラグビー場で14日から開催。

- ・1回戦 黒沢尻北5 - 56秋田中央(秋田)
(前半5 - 21、後半0 - 35)
- ・5位決定戦 = 黒北31 - 7聖光学院(福島)
(前半17 - 0、後半14 - 7)

◎陸上

北上総合運動公園陸上競技場で14日から始まりました。

【岩手日報6/16】

- 男子100m 第4位 高杉時史 11秒03
- 女子100m 第3位 大山里花 12秒33
- 女子走り高跳び 第2位 八重樫澄佳 1m63

(走り高跳びで2位)記録は悪かったが、狙っていたインターハイ出場を1年生で決められてほっとした。踏み切りや助走などを試合中に調整しながら挑んだ。次は1m70以上を跳びたい。



【岩手日報6/17】

- 女子棒高跳び 第3位 金子遥果 3m20

【岩手日報6/18】

- 女子110m障害 第4位 駒ヶ嶺光瑠 14秒51
 - 女子学校対抗得点 黒沢尻北 第3位 15点
- 【この3位は素晴らしい結果です！！】

◎ソフトテニス

山形県総合運動公園テニスコートで16日から開催。

- 男子団体 予選Cブロック 黒沢尻北2勝1敗 落選
- 女子団体 予選Aブロック 黒沢尻北1勝2敗 落選

高校生フォトコンテスト

第24回高校生フォトコンテスト(県高文連後援)の課題「春踊る」には、県内16校の133人から過去最多となる297点の応募があり、その結果、本校の2人の作品が1席と2席に入選しました。素晴らしい！

おめでとうございます。

(6/10の岩手日報には、12面と13面に大きく取り上げられました。)

1席 「Sincetyle (シンスタイル)」 吉田悠馬(1年4組)



吉田くんのコメント = =桜がうまく見えるか不安だったが、評価され、とにかくうれしい。写真を撮るためにお世話になった人たちに感謝を伝えたい。今回のテーマに合う写真を考え、思いついた瞬間は気持ちが高ぶった。立体感を出すため、角度を変えながら撮影した。タイトルは90年以上続く蜜カラの新スタイルの応援を作りたいと考えた造語。伝統の蜜カラ応援と、プロジェクションマッピングを合わせた新しさを感じてほしい。写真は瞬間しか撮影できず、後で見た時に場面がよみがえってくるのが好き。良い写真を撮った時の達成感に勝るものはない。次も賞が取れるよう、自分の感性を信じてやっていきたい。

～選評～

蜚力にプロジェクターで桜吹雪を映し、実物(リアル)と仮想(バーチャル)を同調させるプロジェクションマッピング風に仕上げた。伝統と最新技術を融合させた工夫が光る。映像を下から映すことで影を被写体の上方に出し、非日常感を強調した。

2席 「春色に染まる」

齊藤愛琉(2年2組)



～選評～

低速シャッターで踊る花びらを表現した。最終審査では、同様の被写体を逆光で捉えた渡辺穂香さん(黒沢尻北2年)の作品と競った。光の使い方は渡辺さんが勝ったが、構図のまとまりを評価し僅差で齊藤さんを優勢とした。今後も切磋琢磨してほしい。

== 2次審査通過作品 ==

・「春色」

渡辺穂香(2年1組)

・「一週間の締めくくり」

下瀬川琉風(3年4組)

・「淡い花」

青木紋香(1年5組)

(上記の高校生フォトコンテストの生徒コメント、選評は、
6/10付の岩手日報記事を掲載しました)

○進路を考える

最近、北上市内・西和賀町、近隣の中学校から、中学3年生に対しての「高校説明会」のお誘いがたくさん来ています。時間があえば、積極的に出向いて本校をPRしてきたいと思っています。

みなさんも数年前には、たくさんの方の高校の先生方のお話を聞いた記憶があるでしょう。中学生にとっても高校選択に向き合う時期が、いよいよ近づいてきているということですね。

3年生のみなさんは、多くの方が部活動を引退し、自分の進路について向き合い、考えなければならない時期になり、6月進研マーク模試も終わりました。

「進路を考える」とは「自分の生き方考える」ということです。

3年生の皆さんとの面談では、将来、社会や人のためになりたい、そのために〇〇大学〇〇学部に進学したいと考えていると話してくれる人が多くいました。それを受けて、私が現段階で、あなたの成績は合格の最低ラインよりもどこの位置にいるのかと尋ねると、かなり下にまだまだあると話してくれたように思います。本気で、人のためになりたい、その志望の大学に合格したいと思うのであれば、今の自分の状況を客観的に分析し、弱点を把握しなければなりません。例えば、センター試験では目標点の650点取りたい。6月進研マークでは400点だったから、本番までに250点を上乗せしなければならない。そのためには、各教科あと何点伸ばす必要があり、どの分野の基礎基本をいつ取り組むべきか、その計画をしっかりと立てて、つづいていく必要があります。

本気で、将来どう社会と関わっていくのか、考え、決めたら志望校に合格するために、しっかりと勉強に向き合って努力してほしいと思います。

何となく勉強して、何となく志望校に手が届けばいいや、そうでなければ志望校を変更すればいいのだから、ぐらいの気持ちであるならば、その勉強を通して「人のために役立ちたい」という、現在皆さんが抱いている思いの強さは、本物なのかと、考えさせられてしまいます。不安を感じてばかりでも困りますが、楽観的すぎるのも考えものです。

